



Colin
Williams



Yu
Tamaki

Trombone DUO

Recital 2023

コリン・ウィリアムズ・玉木 優

ニューヨークフィルハーモニック副首席奏者

インターナショナル・ソリスト

トロンボーン デュオ リサイタル



ピアノ
秋元孝介 (奏トリオ)

Special Guest (東京公演のみ)

バストロンボーン
マーティン・スキップーズ
(ロイヤルコンサートヘボウ管弦楽団奏者)

プロコフィエフ: 組曲「ロミオとジュリエット」☆☆
Sergei Prokofiev: Suite "Romeo and Juliet"

真島俊夫: スピニングスパイラルデュオ より☆☆
Toshio Mashima: Spinning Spiral Duo

ブルジョワ: トロンボーン協奏曲 ☆
Derek Bourgeois: Trombone Concerto

狭間美帆: トロンボーンソナタ第1番 ☆
Miho Hazama: Trombone Sonata No.1

ミルズ: トロンボーンソナタ「赤とんぼ」より第一楽章 ☆
Amy Rieb Mills: Red Dragonfly Sonata Mov.1

ロパルツ: 変ホ短調の小品 ☆
Joseph Guy Ropartz: Pièce en mi bémol mineur

ブルジョワ: コート・デ・ボーン ☆
Derek Bourgeois: Coat de Bone

フェルヘルスト: ファイアー・ホース ☆☆☆
Steven Verhelst: Fire Horse (ピアノ版世界初演)

☆ウィリアムズ ☆玉木 ☆スキップーズ (東京公演のみ)

TOKYO 東京 5/2 火

日暮里サニーホール

東京都荒川区東日暮里5丁目50-5 ホテルラングウッド4F (日暮里駅より徒歩4分)

18:30開場 / 19:00開演

大阪 5/3 水

豊中市立文化芸術センター アクア文化ホール(中ホール)

大阪府豊中市菅根東町3丁目7-2 (阪急菅根駅より徒歩7分)

18:30開場 / 19:00開演

チケット [全席自由] チケット取扱い & お問い合わせ

一般 ¥5,000

学生 ¥4,000

(当日 ¥500円増)



東京公演



大阪公演



デュオリサイタル実行委員会: www.yutamaki.com/recital/ recital@yutamaki.com

ジョイブラス: 03-5480-2468 tb@joybrass.co.jp

ドルチェ楽器 管楽器アヴェニュー東京: 03-5909-1771 / ドルチェ楽器 大阪店: 06-6377-1117

管楽器専門店タク: 03-3361-2211 / 三木楽器 Low Brass Center: 06-6343-1360

2008年夏、長野県松本市。小澤征爾氏指揮のサイトウ・キネン・オーケストラ、トロンボーンセクションでの共演がきっかけで意気投合、国境を越えた交友が始まりました。その後、コリン・ウィリアムズは、世界でダントツの人気と実力を誇る金管楽器セクションを擁するニューヨーク・フィルハーモニックに入団。玉木優は、オーケストラの世界からソリストに転身し、世界地図を飛び回るように活動の舞台を拡げてきました。この間も交流は続き、2018年東京&大阪、2021年・2023年アメリカと、共演を続けています。

5年ぶりの日本公演、世界の最新デュオトロンボーンにご期待ください!

そして東京公演のスペシャルゲストに、こちらも世界屈指のオーケストラ、オランダのコンサートヘボウ管弦楽団から、マーティン・スキップァーズ氏をお招きし、日欧米の夢の共演が叶います。

from Colin

みなさん、こんにちは!

本当に長い年月を経て、念願だった日本へ帰ってくることが叶い、とてもワクワクしています! 日本の素晴らしい人々、食事、音楽のすべてが恋しくずっと待ち望んでいました。

私の友人である玉木優さんと一緒にトロンボーンで素晴らしい音楽を奏でることは、2018年に日本で最後に共演して以来、私の夢のひとつとなりました。まさに再び夢が叶うと言うのはこのこと! 皆さま、ぜひコンサートを覗きに来ていただいて、終演後は直接ご挨拶できたら嬉しいです。音楽体験を一緒に共有できるなんて、本当に素晴らしいことですね。

Colin Williams

コリン・ウィリアムズ

2014年よりニューヨークフィルハーモニックにて副首席トロンボーン奏者を務める。前職はアトランタ響にて12年、サンアントニオ響にて3年、それぞれ首席奏者を務め、これまでにシカゴ響、ボストン響、フィラデルフィア管、ロサンゼルスフィル、ナショナル響、ヒューストン響などにたびたび客演してきた。

アクティブな演奏家と教育者の側面だけではなく、音楽家の健康・ウェルネスの提唱者でもある。アトランタ響時代に、唇の筋肉の激しい損傷に見舞われ、医師より口輪筋の断裂と診断を受ける。この負傷により約一年間のオーケストラ休職と、その後数年に渡る継続する痛みに見舞われた。この負傷と回復、メンタルヘルスの道のりが、今日の演奏と指導へのユニークなアプローチへと繋がっている。舞台への帰還の決意とともに、2018年にデビューアルバム“Ash”をリリース。

アトランタ響時代、当時の同僚たちと設立した“アトランタ・トロンボーン・プロジェクト”の一環として、アルバム“Roadwork”をリリース。このプロジェクトはのちに“サウスウェスト・トロンボーン・シンポジウム(STS)”として、毎年数百人が参加する国際的な音楽祭・ワークショップとして発展。

ソリストとして、アトランタ響、米軍楽隊“Pershing's Own”、アメリカンミリタリーアカデミーバンド、ジュリアードオーケストラと協奏曲と共演し、アメリカントロンボーンワークショップやインターナショナルトロンボーンフェスティバルにもデビューを飾る。

ミネソタ響のダグラス・ライト、ニューヨークフィルのデイビット・フィンレイソン、同じくニューヨークフィルのジョセフ・アレッシの各氏に師事。

Kosuke Akimoto

秋元孝介 | ピアノ

2018年、莫トリオのピアニストとして、第67回ミュンヘン国際音楽コンクールピアノ三重奏部門で日本人初の優勝。現在は日本とヨーロッパで演奏活動を行いながら、明治安田クオリティオプライフ文化財団海外音楽研修生として、ミュンヘン音楽演劇大学大学院、東京藝術大学大学院音楽研究科博士後期課程にて更なる研鑽を積んでいる。これまでに、第2回ロザリオ・マルシアーノ国際ピアノコンクール第2位、第10回パデレフスキ国際ピアノコンクール特別賞などを受賞。また莫トリオとして、第28回青山音楽賞「バロックザール賞」、第29回日本製鉄音楽賞を受賞している。兵庫県立西宮高等学校音楽科を卒業後、東京藝術大学音楽学部、同大学院音楽研究科修士課程をそれぞれ首席で修了し、サントリーホール室内楽アカデミーでも研鑽を積んだ。

主催:ウィリアムズ&玉木トロンボーンデュオリサイタル実行委員会 / 特別協賛:真田貿易 / 特別協力:プラスオヴザワールドJP / 招聘協力:プロアルテムジク

協賛:willie's Custom Brass, S.E.Shires Co.、管楽器専門店ダク、Glanz Trombone、三木楽器 Low Brass Center / 協力:株式会社ドルチェ楽器、Konta Inc.

Yu Tamaki

玉木 優

世界各地を舞台に活動を続けるソロトロンボーン奏者。兵庫県芦屋市出身。兵庫県立西宮高校音楽科、京都市立芸術大学を経て渡米。ミシシッピ響、ミシシッピ大講師、デュークイン大大学院助手を務めたのち帰国。小澤征爾監督の東京のオペラの森、サイトウキネンオーケストラに参加。東京佼成ウインドオーケストラに在籍後、文化庁海外研修制度により渡欧。スイス・ベルン芸大を首席で修了後、南デンマークフィルハーモニー管に入団。

2018年1月、日米欧において15年間務めたオーケストラ奏者のキャリアから、ソリストに転身。ソロリサイタル、協奏曲共演、マスタークラス指導を3つの柱に、世界各地で活動を展開。S.E.Shires, willie's Custom Brass、公式アーティスト。島根ふくたまフェスティバル音楽監督。イアン・バウスフィールド、ピーター・サリヴァン、呉信一、山下浩生の各氏に師事。現在デンマーク在住。

活動のハイライトとして、日本主要都市でのリサイタルツアー、ジュリアード音楽院ならびに30以上の音楽機関を巡る全米ツアー、日本センチュリー響、日本フィル、東京シティフィル、東京ニューシティ管、米軍楽隊“Pershing's Own”、オオサカシオン、東京佼成、スーパーストリングスコーベ、ファウンテンシティプラスなどと協奏曲共演、インターナショナルトロンボーンフェスティバルにてソロリサイタルと協奏曲演奏、ジョセフ・アレッシ、イアン・バウスフィールド、シュテファン・シュルツ、コリン・ウィリアムズなど、世界第一線奏者らとのデュオ共演などが挙げられる。また、ソロトロンボーンの音楽表現探究のため、世界の名だたる作曲家へ新作委嘱を行っている。

Martin Schippers

マーティン・スキップァーズ | バストロンボーン

ロイヤルコンサートヘボウ管弦楽団奏者、ルツェルン芸術大学教授。ロッテルダム音楽院卒業後、オランダ放送フィル、オランダ放送室内フィルを経て現職。ロイヤルコンサートヘボウプラス、インターナショナルトロンボーンアンサンブル、ニュートロンボーンコレクティブなどのメンバーとして、世界中で演奏活動を展開。

インターナショナルトロンボーンフェスティバルをはじめ、カナダ、韓国、オランダ、タイ、ブラジル、ドイツ、スペイン、ポルトガルなど、各国の音楽祭に参加。

トロンボーンのリパートリー拡充のために、ソロ、デュオ、トリオ、アンサンブル、エチュードなどについて、多くの作曲家とコラボレーションを続けてきた。特に世界展開をした、スティーブン・フェルヘルストとのSong for HealthとSong for Japanの2作は記憶に新しい。